

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	14
事業名	災害対策経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	4
施策	1 安全・安心なまち	課名	環境防災課		
	1-1 安全・安心のまちをつくる	係名	危機管理室		
	1-1-1 消防・防災対策の充実				
主要施策	②地域での防災力の強化	③災害時要援護者対策の充実			

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。
事業内容	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。 自治会・自主防災組織の活動をサポートするため、自主防災活動補助金の交付等支援を行っている。災害対策用備蓄物資を計画的に進めている。 また、対象世帯（65歳以上のみの世帯）からの申請により、家具転倒防止器具の設置を行い、災害時における生命の保護に努める。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					12,632	12,939	16,436		
財源内訳	直接事業費 A				12,632	9,237	12,734		
	うち一般財源				8,806	6,956	11,643		
人件費 (千円) B					0	3,702	3,702		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.55	3,630	0.55	3,630
	臨時職員 (人・千円)				0	0.04	72	0.04	72

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	あらゆる災害に備えた、各種計画の見直しや、住民の防災意識の高揚、感染症対策に係る物品の備蓄を進める必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	家具転倒防止事業 自治会消防活動事業補助金の交付	④今後の改善計画	自治会補助金について、継続拡充を含め検討が必要。 新型コロナウイルス対応物品の備蓄